

参考資料 通学区域の検討に係る児童数推計の一例として

◎ウイングタウン本郷

- 開発面積 約 31,000 m<sup>2</sup> (道路・公園含む)
- 宅地面積 約 23,500 m<sup>2</sup> (道路・公園除く)
- 総区画数 103 区画 (全て戸建販売。集合住宅の建築予定無し)
- 宅地規模 約 230 m<sup>2</sup>/戸 (約 70 坪/戸)
- 居住状況 41 世帯 116 人 うち、小学生以下 38 人 (小学生 6 人・未就学児 32 人)  
(H29.1.10 時点) ※1 世帯あたりの未就学児人数 (H22~27 年度生まれ)  
32 人 ÷ 41 世帯 ≒ 約 0.78 人

◎本郷

- ・一丁目
  - 全体面積 約 270,000 m<sup>2</sup> (道路・公園・建築済含む)
  - 空地 約 27,500 m<sup>2</sup> (道路・公園・建築済除く。区画整理済住宅建築可能空地)
- ・二丁目
  - 全体面積 約 90,000 m<sup>2</sup> (道路・公園・建築済含む)
  - 空地 約 34,600 m<sup>2</sup> (道路・公園・建築済除く。区画整理済住宅建築可能空地)
- ・三丁目
  - 全体面積 約 150,000 m<sup>2</sup> (道路・公園・建築済含む)
  - 空地 約 18,000 m<sup>2</sup> (道路・公園・建築済除く。区画整理済住宅建築可能空地)

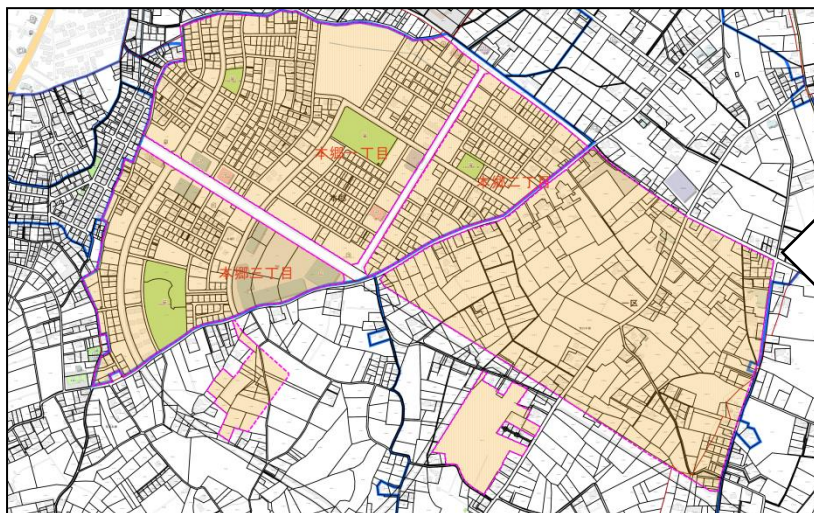
一例として、ウイングタウン本郷の状況から将来定住見込を推計すると、

戸数	一丁目	27,500 m <sup>2</sup> ÷ 230 m <sup>2</sup> ≒ 約 120 戸	
	二丁目	34,600 m <sup>2</sup> ÷ 230 m <sup>2</sup> ≒ 約 150 戸	
	三丁目	18,000 m <sup>2</sup> ÷ 230 m <sup>2</sup> ≒ 約 78 戸	
児童数	一丁目	120 戸 × 0.78 人 ≒ 約 94 人	(1 学年あたり 94 人 ÷ 6 学年 ≒ 約 16 人)
	二丁目	150 戸 × 0.78 人 ≒ 約 117 人	(1 学年あたり 117 人 ÷ 6 学年 ≒ 約 20 人)
	三丁目	78 戸 × 0.78 人 ≒ 約 61 人	(1 学年あたり 61 人 ÷ 6 学年 ≒ 約 10 人)

※本郷区には現時点でも数棟の集合住宅が建築されており、同様の住宅が建築された場合は児童数が更に多く増加することも考えられる。

◎一区(C)

- 全体面積 約 350,000 m<sup>2</sup> (道路・公園・建築済含む)
- ※区画整理未実施であり、現時点では不動産の多くが農地として活用されているため、宅地としての面積計算及び将来推計は困難。商業施設などの可能性もあり。
- また、住宅地として整理されるには民間企業による開発が必要となるため、住民が定住して児童数が増加していくには、比較的時間がかかることが想定される。
- 一方で、市街化区域の大きな面積を有するため、将来の開発状況によっては多くの住民が定住することが期待される。



○地番図  
区画整理地内は、すぐに住宅が建築できるように土地が整理されていることが分かる。

◎上本郷・実穀

上本郷で 79 区画，統合対象校の地区である実穀で 83 区画の開発が造成されており，近い将来に本郷小学校の児童数が増加することが期待される。

児童数推計

ウイングタウン	103 戸×0.78 人≒約 80 人	(1 学年あたり 80 人÷6 学年≒約 13 人)
上本郷	79 戸×0.78 人≒約 62 人	(1 学年あたり 62 人÷6 学年≒約 10 人)
実穀	83 戸×0.78 人≒約 65 人	(1 学年あたり 65 人÷6 学年≒約 11 人)

